

発行所  
**石川県保険医協会**  
 〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 尾張町レジデンス2F  
 電話 (076) 222-5373 番  
 FAX (076) 231-5156 番  
 発行人 高松 弘明  
 印刷所 ソノダ印刷株式会社  
 購読料 1年間5,000円 (〒共)  
 (※本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

主な記事

2面 全国機関紙担当者交流集会  
 3面 歯科医科隣接医学懇談会  
 4面 歯科衛生士による講演会印象記  
 5面 工房シテイ  
 6面 韓国訪問記—第12話—  
 7面 介護保険 (新シリーズ) ①  
 8面 会員リレーエッセイ (3)

今月の会員数/904人 (医科651人・歯科253人)



講師の熊谷 崇氏

## 歯科 学術講演会

### テーマ カリオロジーの実践

～健康を守り育てる医療を実現するために～

講師 山形県酒田市開業 熊谷 崇氏

## 患者さんの信頼を得るために

浦崎 裕之 (金沢市)

四月四日(日)、午前九時～午後三時まで、金沢都ホテルを会場に、山形県酒田市で歯科医院を開業されている熊谷崇氏を講師にお招きし、「カリオロジーの実践～健康を守り育てる医療を実現するために～」と題した講演会が開かれました。

現在、歯科医療の一つの流れを作っている熊谷氏の講演とあって、当初の予定を大幅に超える九十二人の歯科医師、歯科衛生士らが参加しました。

以下、当日の報告記事を浦崎裕之先生(金沢市・歯科)にまとめていただきました。また、歯科衛生士の方々による印象記を四面に紹介します。

熊谷先生の講演、前夜の懇談会、著書、論文などから、先生の考えを、私なりにまとめてみました。

「これまでの歯科治療は本当に患者さんのためになつてきたのだろうか」「齲蝕も歯周病も、本来はまれな病気なのである」「なぜこのような口腔疾患が発症してしまったのか」。熊谷先生の歯科医療の原点はここにありとあります。自身の開業当初の反省に基づき、現在の先生の臨床があります。

以下、先生はこう考えられています。

「患者さんの幸福を考えたならば、病気にならないように考えてみるのが一番大切である。これまでは、生じてしまった疾病に対する治療が重視され、なぜ病気が起きたかということにはほとんど考慮されてこなかった。齲蝕や歯周病の発症に対する対策が立てられないうまま、疾患に対して治療がなされるのみであった。従って、例えば一本の歯の齲蝕が発生すると、即座に治療され、そして再発、また治療、結局歯の喪失につながり、それが多数歯の喪失につながっていく。これ

はどう考えても患者さんの望むところではない。齲蝕や歯周炎はその原因が明らかである故に、発症を防ぐ、予防することは十分可能なはずである。これは、いざいざ前から明らかである。が、それに対しての対策がとられてこなかった。特に日本では、例えば十二歳の齲蝕および処置歯の数はアメリカなどに比べて多い。北欧やアメリカでは子どもの齲蝕は発症に対する対策が着実にとられてきたため、齲蝕の数は激減している。大切なのは、発症の予防である。ここが抜け落ちていて、どんなに立派な補綴治療をして、その経過が不

良なのは明らかであり、したがって、患者さんの信頼を得ることは難しい。」「カリエスフリーで歯周炎のない口腔内を作り出すことは難しいことではない。優秀な歯科衛生士が育つには少なくとも四～五年は必要です。もちろん、時間だけではなく、労働意欲のわく環境を、給料のことも含めて整える必要があります。院内でこれに対応するシステムを作る必要があります。補綴治療がほとんど必要のない、プラークコントロールの確立した人たちに囲まれて歯科医師として晩年を過ごせるか否かは、今からいかにそれに向けたシステムを作れるかにかかっていると思います。

しかし、現実はどう簡単ではありません。来院する患者さんすべてに対応するには、歯科医一人では無理です。優秀な歯科衛生士が必要で、歯科医師が「がんばってカリエスフリーを作りましょう」と患者さん

# 新規開業医交流会

医院経営のポイントから保険診療の留意点まで

- 話題提供
- ①新規開業に必要な医院経営のポイント  
石川県保険医協会顧問税理士 **中村 栄希氏**
  - ②医療機関の生涯サイクルを見据えて  
石川県保険医協会理事 **西田 直巳氏** (小児科開業)
  - ③私の開業体験から  
石川県保険医協会理事 **柴山 真介氏** (内科開業)

■開催日 **6月19日(土)** 当日軽食を用意します。  
 ■開催時間 **PM6:00～PM9:00**  
 ■会場 **金沢都ホテル 5階能登の間**  
 ■主催 **石川県保険医協会**  
 ■協賛 **有限会社ヒポクラテス**

●お申込み先 電話：076-222-5373  
 FAX：076-231-5156  
 E-mail：ishikawa-hok@doc-net.or.jp

●「保険診療の手引」(98年4月版)をテキストとして使用します。会員の方は当日お持ち下さい。  
 ●会員医療機関の参加費は無料  
 ●未入会員の参加費は6,000円(テキスト代を含む)です。

両雄並び立たず。民主主義は資本主義によって支えられ、資本主義は戦争という手段によって勢いづく。滞貨的膨大な新兵器は、この機会に試射実験。滞貨は一掃され、軍事費はペイされて収支の採算がとれる。株価は上昇し、資本主義はかつてない繁栄を謳歌する。この採算という犠牲の祭壇に供えられたユーゴこそ災難である。国際連合も有名無能、世の中に正義なかなない。不倫トン、いや、クリントンの金と色に振り回されて、世界の国々も歯が立たない迷惑顔。一触即発すれば水爆戦。世紀末ノストラダムスの大予言が、単なる予言ではなくなりそうな風向きになってきた。

## 医心凡語

今世紀末は、宣戦布告なき大乱前夜の様相に見舞われている。ユーゴがナトリーの仕掛けられた突如の爆撃に晒されてすでに一月あまりに及び、解決の糸口がつかぬまま地上戦にもつれ込む構えだ。ご他聞に漏れず住民、非戦闘員を巻き込んで無差別爆撃である。ハイテク近代戦の凄惨がテレビに映る。住宅、軍事施設の別なく、人間の殺傷で多数の難民が出ている。すさまじいばかりの空爆が日夜続けられている。その引き金となったのは、当事国の歴史的背景や、宗教とイデオロギーの相克による民族的対立であることは論を待たない。その間には強大国の冷戦終結後の世界制覇の野望が見え隠れする。

### 全国機関紙担当者交流集会

# きしめんと機関紙

理事 大平 政樹

四月二十四日(土)午後五時半より三重県四日市市内のホテルで、保団連機関紙部会が開かれ、杉野事務局員が出席しました。また、翌二十五日には全国機関紙担当者交流集会が開かれ、当協会機関紙・文化部長で保団連機関紙部員の大平政樹理事(金沢市・外科)および杉野事務局員が出席しました。両会議報告は、全国紙で詳しく報道されますので、以下、大平理事からの印象記を掲載します。

三重はうちの嫁さんの生まれ故郷である。まあ出張には何の関係もないのであるが、「角源のきしめん」「角源の・・・」と呪文のように繰り返しながら、四日市の駅で降りた。だが、しかし恒例のごとく、数分後には道に迷ってしまっていた。駅を出て、右側にあるはずのホテルがない。夜の十時すぎ。仕方がないので、屋台のラーメンをすすりながら、「おじさん、シテイホテル知らない？」と聞いたがやはり分からない。詳しく書くとは報告記事にならないので、ホテルに着いたのはその二十分後で

した。駅から数分だつて・・・さて、四月二十五日朝から講演会、昼から交流集会とずっと詰詰。昼は弁当。ついに角源のきしめん屋に行くことはできなかった。保団連の会合はいつもながら、ホントどこでやっても同じだ。なぜって？移動とホテルと会場以外に費やす時間がないからである。本当にどうしてこの集団はこんなにもまじめな方ばかりの集まりなのだ？



石川協会の機関紙について報告する大平政樹理事(前列右から3番目)と杉野事務局員(右から2番目)

講演会は、インターネット時代の著作権、コラムの

書き方、写真の撮り方と盛りだくさんで、これをフリーのジャーナリストである中江求氏が、一人でこなされた。院内新聞に有名新聞のコピーを載せるのも実は著作権に抵触するけど、まあ現実には大目に見られています。コラムの書き方では、最初のつかみが大切。読んだときのリズム感が大切。もちろん、できるだけ一文を短く・・・長い文章を書いて、不要部分は切り捨て、最後の導入部分を書き加えるという方法もある・・・等々。

氏の本業はカメラマン。集会を写すときは、なるべくその集会の主張や意義が見えるような写真を撮るとのこと。だから動き、表情、その変化を予想して、ある一瞬を捕らえるのです。が・・・むずかしいですね。各協会報告は割愛。

統一地方選挙の告示も終わり、市議員選挙も一週間後に迫り、保険医協会の外では、選挙カーが忙しそうに市内を走り回るいつもの選挙風景が繰り返されている。理事会上で「医療不正指摘料」の中で「医療不正指摘料」なるものを名乗り、病院から賛助金を振り込ませたという記事が話題に上った。うがったふうに見えるが、協賛金を振り込んだという事は、自院の不正請求を証明していることに他ならない

### 4月度理事会点描

## 取る方も取られる方も

(4月20日・12人出席)

歯科医院院長が、自院の患者の架空請求で保険医を取り消しがあったからで

カルテ開示やインフォームド・コンセントがますます求められるようになり、世間一般のわれわれ医療人への見方がさらに厳しくなっているのにもかかわらず、未だにこの手の事件が発生するのはどうしてだろうか？

幸い、われわれ保険医協会の会員にはこうした輩は皆無であると思うが、この事件を他山の石として襟を正していかなばと思うのである。

(大平三 記)

## 1999年は国際高齢者年 International Year of Older Persons 1999



# すべての人々が自己決定できる社会を 国際高齢者年によせて



1999  
Towards a society for all ages  
International Year of Older Persons 1999

国際高齢者年にあたる今年、国連が採択した「高齢者のための国連原則(独立、参加、ケア、自己実現、尊厳)」とテーマ「すべての年齢のための社会をめざして」を掲げて世界各地、全国各地で様々な取り組みが展開されています。

記念講演をお願いするフィリップ・グロードさんは、国連の老人憲章づくりにも加わった方で、函館の高齢者総合施設「旭ヶ岡の家」総合施設長として高齢者の尊厳ある生を実現する施設づくりに取り組まれると同時に、人権保障を求める立場から日本の福祉・医療に対して積極的な問題提起を続けておられます。シンポジストの皆さんも、それぞれの分野で同様の視点からいずれも積極的に発言し行動されている方々です。

とき **6月5日(土)** 午後1時半～午後4時半

ところ **石川県社会福祉会館 4階ホール**  
金沢市本多町3丁目1-10 TEL 076-224-1212

■参加費/資料代 **500円**



記念講演講師 ●フィリップ・グロード氏

●フィリップ・グロード氏の著書  
『おとしよりに太陽を  
SOS!日本の老人福祉』  
(旬報社刊 定価1,680円)を当日販売します。



- 主催者挨拶** 梶井 幸代氏(北陸婦人問題研究所 所長)
- 記念講演**
- 演 題 **国際高齢者年と日本の福祉**
  - 講 師 **フィリップ・グロード氏**(函館市・「旭ヶ岡の家」総合施設長)
- シンポジウム**
- 報告者 **井上 英夫氏**(金沢大学法学部教授)
  - 落合 誓子氏**(珠洲市議会議員)
  - 長井 英理氏**(金沢市介護保険事業計画策定チーム委員)
  - フィリップ・グロード氏**
  - 司会者 **横山 寿一氏**(医療・福祉問題研究会事務局長)

■主催 **老後問題を考える石川のつどい/医療・福祉問題研究会** ●連絡先 **石川県保険医協会 TEL 076-222-5373**

■賛同団体 **金沢市 ほか**



4回シリーズ (最終回) 歯科医科隣接医学懇談会

# 好評のうちにシリーズ終了 4回分を冊子に編集予定

理事 大平 三四郎 (金沢市・歯科)



三月十三日(土) 午後六時～八時半まで、金沢都ホテルにおいて四回シリーズ最終回の歯科医科隣接医学

懇談会が開かれた。

今回のテーマは、「脳神経・精神科の病氣」「婦人の病氣」で、講師はそれぞれ、浅ノ川総合病院の江守巧先生、開業医の大石博司先生であった。それぞれの先生の持ち味を十分に発揮され、ユーモアあふれる中にも中身はキラッと光る、いわゆる明日からの臨床に役立つ内容であった。

歯科医科隣接医学懇談会も、はや最終回を迎え、改めて歯科会員の方々の勉強熱心がひしひしと伝わってくる。第一回目を協会の会議室で開催したときは、果たして何人集まるか不安であったが、いきなり部屋に入りきれないほどの会員が多数集まり、うれしい悲鳴で、さっそく二回目からはホテルの会議室を予約したのであった。回を重ねるに従い、講師をお引き受けいただいた医師の先生方の型にとらわれない、細かいところまでというより開業歯科医が普段聞きたくても聞けないかゆいところまで懇切丁寧に説明していただいたのはずいぶん勉強になった。そしてさらに、今回の懇談会を単発の会に終わらせることなく講演内容をまとめて小冊子にするべく鋭意努力中である。

最後に、今後さらに、医科・歯科双方の会員が参加できる、ぎゅぎゅらんな会を開催して、自由に質問や討論ができればと考えている。

最後になったが、今後さらに、医科・歯科双方の会員が参加できる、ぎゅぎゅらんな会を開催して、自由に質問や討論ができればと考えている。

## 持論

今年一九九九年は国連が決めた「国際高齢者年」である。知っている人は意外に少ないのではないかと。なぜなら政府や自治体の対応が鈍いからだ。今までに総務庁が一枚のパンフレットを作ったのみである。国連は、「高齢化に関する国際行動計画(一九八二年)」や「高齢者のための国連原則(一九九一年)」を活用して高齢者の尊厳と人権を確立する活動を各国政府に要請している。その背景には世界的な高齢化の進行と、第二次世界大戦後の半世紀に及ぶ人権保障論争がある。高齢者特有の人権問題と社会・経済的対応の両面を考え直す出発点の年にしようとの趣旨だ。

今年一九九九年は国連が決めた「国際高齢者年」である。知っている人は意外に少ないのではないかと。なぜなら政府や自治体の対応が鈍いからだ。今までに総務庁が一枚のパンフレットを作ったのみである。国連は、「高齢化に関する国際行動計画(一九八二年)」や「高齢者のための国連原則(一九九一年)」を活用して高齢者の尊厳と人権を確立する活動を各国政府に要請している。その背景には世界的な高齢化の進行と、第二次世界大戦後の半世紀に及ぶ人権保障論争がある。高齢者特有の人権問題と社会・経済的対応の両面を考え直す出発点の年にしようとの趣旨だ。

## すべての年齢のための社会を

今年、国際高齢者年

つての老人福祉法のすばらしい理念を忘れ、大企業優遇で招いた財政危機を高齢化社会危機論にすり替え、社会保障とくに高齢者の医療・年金制度の改悪を強行して、国連原則の精神を無視し続けているのである。高齢者のための国連原則と

は、人生を刻む年月に活力を...と謳い、前文で国連憲章、世界人権宣言、国際諸規約、高齢者国際行動計画などを確認し、国家間や個人間での対策の格差を指摘して、高齢者の自立・参加・ケア・自己実現・尊厳の各項目に、各国政府が責任を

や介護保険などの立案、決定、実施に与することで、単なる地域社会への参加や交流ではない。高齢者のケアとは、身体に関する各種の公的サービスを広くいつでもどこでも差別なく受けられることである。

自己実現とは、年老いても人格、知能、創造性は衰えないから、能力の発達と可能性を伸ばす機会を与えられて当然であるということ。そして最後に、最も大切で基本的な権利としての高齢者の尊厳、すなわち他人や国家から搾取されたり運命を左右されることがなく、平和な余生を送ることが守られねばならないのである。

## 不当減点、理由不明減点、返戻事例があったら まず、「保険審査通信」をFAXしてください。

「黄色ハガキ」を改め、今回から「保険審査通信」に変更します。

保険医協会では、査定減点や再審査請求、個別指導のご相談にお答えしています。理由が分からない、納得がいけない減点や返戻事例があった時には、放置しないで、まず保険医協会にご相談ください。協会内の医療保険委員会にて内容を検討のうえ、今後の保険請求や再審査請求などについてご相談に応じています。

不当減点、理由不明減点、返戻事例がありましたら、毎月お送りする『保険審査通信』の該当個所に記入のうえ、協会まで(FAXで)お送りください。その際、お手元に減点のレセプトの控えがあればそのコピー(返戻については、レセプトと返戻付箋のコピー)もお送りください。レセプトがない場合は、査定に関連するすべての請求内容をカルテより拾ってお送りください。

また、納得のいかない査定・返戻はもちろん、明らかな事務上の間違い(記号番号の誤りなど)以外のすべての査定・返戻についてお知らせください。石川県の保険審査の実態と傾向をまとめて、会員の皆様に情報還元していきます。

### 再審査請求の用紙を無料でお届けします。

納得できない査定・減点に対しては再審査請求書を提出し、先生の診療の妥当性、正当性を遠慮なく主張してください。再審査請求は先生の診療方針を審査委員会に正しく理解してもらう大事な機会となります。

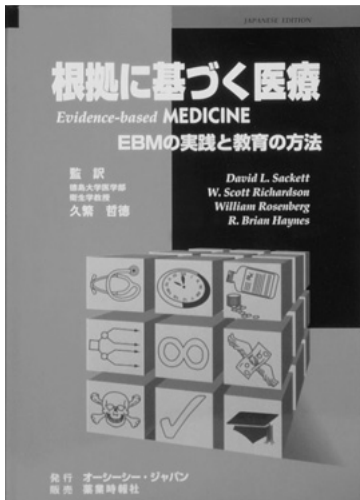
今回、再審査請求用紙(再審査依頼書: 社保・国保別)を一枚ずつお送りします。社会保険は全国統一様式、国保は決まった様式はありませんが、石川県国保で使用されているものです。再審査請求をされる先生は、社保・国保別に必要枚数をご連絡下さい。無料でお届けします。

石川県保険医協会 TEL 076-222-5373 FAX 076-231-5156

## 根拠に基づく医療

EBMの実践と教育の方法

本書は、EBMの原理と特徴、および日常の臨床業務への応用方法を分かりやすく解説した書です。そもそも「根拠に基づく医療(Evidence-based MEDICINE)」とは、個々の患者の健康問題を解決するため、臨床的専門技術、利用可能な最善の外部根拠、患者の期待、といった要素を統合した実践的な医療科学ないし技術です。高齢化社会を迎え、保険医療改革が急速に進められている現在、わが国でも、EBMはそのための最も有効なアプローチとして注目されています。臨床医のみならず保険医療に携わる専門家に必読の書です。



- David L.Sackett 他著
- 徳島大学医学部衛生学教授 久繁 哲徳 監修
- A5版、275頁 定価5,200円(税込) 送料515円
- お申し込み・お問い合わせは 薬業時報社販売局 東京 03-3265-7751 大阪 06-6231-7061 まで



# 予防

平田歯科医院歯科衛生士 舘 真樹

日吉歯科の取り組みは、誰もが理想としていることだと思えます。でも、日々の診療に追われ治療中心になつていくのが現実だと思えます。その治療も結局は抜歯というつらい結末になつてしまします。これでは患者さんは、痛い思いをして通っているのに、義歯装着となり、歯科医院はあまり好まれない所となります。

私たちが、治療しても治療しても、また、やり直すことになつたら、行き詰まってしまうと思えます。

## 治療から予防へ

小島歯科医院歯科衛生士 辻口 香奈子

熊谷先生は、その前の段階の「予防」に重点をおいて診療システムを作り上げてこられました。あそこまで徹底させるには、患者さんの教育はもちろん、代診の先生や歯科衛生士も教育されてきたことと思えます。常にスタッフには、「予防」ということが念頭にあり、何歳の人でも、日吉歯科に行った人は、その時がスタートになります。それぞれのライフステージに合った生活習慣を聞き出し、その人の口腔内の状況を細かくチェックしてその人に合ったデータを出しています。患者さんも自分のデータなので大変なためになると思えます。

熊谷先生の講演を聞いてから、私も一人の患者さん

# 歯科カリオロジーの実践

講習会

健康を守り育てる医療を実現するために(二面関連記事)

参加者 印象記

効果を実感しました。特に耳下腺の位置は今までチェックしていなかったと思えます。これからの目標として、今担当している患者さんの管理と乳歯列、混合歯列の子どもたちには、カリエスフリーを育てたいと思えます。目指す所は、治療よりも予防で行きたいと思えます。

## 北欧と日本との取り組みの違い

小島歯科医院歯科衛生士 前川 真千子

アメリカでは五〜十七歳の対象者の五五%が永久歯でノンカリエス、十歳以下の六〇%の歯列がノンカリエスに比べて、日本での平成十年度の歯列は、幼児の六七%、小学生七九%、中学生八四%、高校生八九%と、年齢が増すたびに歯の割合が多くなつていく。歯の割合が多くなつていくためには、患者さん自身

## 唾液も大切

平田歯科医院歯科衛生士 草深 紀子

熊谷先生は、「日本では、年をとれば歯が悪くなるのは当たり前」という考えの人が多く指摘されたが、ほんとうにそうだと思う。砂糖の摂取量が日本より多いのに、外国でカリエスになつていく人が少ない理由の一つはフッ素に力を入れているからだと思う。また、日本では「予防」より「治療」を優先してきた点でも

にも自分の口腔内に関心を持ってもらうために、日吉歯科で行っているような患者さん個人のフイルムなどを作って手渡すのも一つの方法だと思つた。

熊谷先生の話の中で、学校歯科健診にはなるべく探針を使わない方がいいという話があった。その理由は、虫歯になりかけの弱くなった歯質に探針のような鋭い針をつついたりすると、表層の歯質が壊れ、細菌が一気に入り込んで、治らない虫歯になってしまうということ。

## 北欧と日本との取り組みの違い

小島歯科医院歯科衛生士 前川 真千子

北欧諸国では、〇〇に対して早期発見、早期治療をすることが多く、予防することではなく、予防することを考え、特に子どもたちを対象に予防対策を行つた。その結果、十二歳の子どもで一人当り七本〜八本だった虫歯の数が、一九九五年には一・四本まで激減した。また、まったく虫歯のない(ノンカリエス)子どもの割合が五〇%を越えた。

## 唾液も大切

平田歯科医院歯科衛生士 草深 紀子

虫歯や歯槽膿漏がなく、一生自分の歯で食事ができることは、とてもすばらしいことです。治療を繰り返すうちに抜歯になるケースはあります。そうなる前に、虫歯から作らないというのは、とてもすごい

**新刊**

## いい歯健康法 春夏秋冬

著者 大阪府歯科保険医協会

■内容  
胃と脳、心の健康に直結する歯。子どもからお年寄りまで、歯の悩みのすべてに歯科医がやさしく答えています。「大阪新聞」に一年間連載され、話題を呼びました。楽しく読むうちに「いい歯」習慣が身につきます。ご家庭と医院の待合室に備えていただく格好の書です。  
(四六版・1,680円(税込み))

■お申し込み  
保険医協会へお電話で  
**TEL 076 (222) 5373**

## カリエスフリー

浦崎歯科医院歯科衛生士 島崎 葉子

今回の講演を聞いて、現れ、私が子どもたちに指導している砂糖の問題などについて、オーバーな予防をしようと思つた。先生と同意できるところが多々あり、安心して今の仕事をしたいと思つた。

熊谷先生の医院の何年前のことをしていたのだろうか?と考へてしまいます。最後に、先生もお話しされたけれど、歯科衛生士の仕事はともやがいのある仕事だと再確認できました。



# 福祉を支える人たち

その4

## 今、歯医者さんが必要で 施設内で治療ができれば...

身体障害者通所施設(分場)工房シテイ

工房シテイ代表 山口 映子

●連絡先●

工房シテイ  
石川県野々市町菅原町19-1  
TEL・FAX (076) 294-4401

### この街で暮らしたい そんななかまたちと共に

春になることを多くの方は、脳性麻痺、知的障害、脳梗塞などによる中途障害、脊髄損傷、聴覚障害、精神障害、リユーマチなど、レハブ倉庫の中でむぎだしのコンクリートの床とトタン屋根の中で、作業し生活している三十人のなかまたち。こんな施設環境でも、工房シテイが大好きな重度障害者が毎日休まずに通って来て、作業に体作りが自洽会にとがんばっています。

「工房シテイに通うなかまは、脳性麻痺、知的障害、脳梗塞などによる中途障害、脊髄損傷、聴覚障害、精神障害、リユーマチなど、レハブ倉庫の中でむぎだしのコンクリートの床とトタン屋根の中で、作業し生活している三十人のなかまたち。こんな施設環境でも、工房シテイが大好きな重度障害者が毎日休まずに通って来て、作業に体作りが自洽会にとがんばっています。」

「LIVE TOGETHER IN THIS CITY」です。生まれ育ったこの金沢市で、野々市町で、共に生きたいと強く願っています。なかまに「将来一人になったら？」と問いかけたとき「工房シテイに通いながら

生活する」と答えが返ってきます。どんなに重度障害でも、閉塞された場所でも、保護された生活は望んでいないと感じさせられま。自分の役割や存在感、明日を語り合って生きてい

### 床がコンクリートで 気がついたらしもやけに

しかし、工房シテイの施設環境は非常に悪く、重度障害者の豊かな生活を守るには限界があります。現在、倉庫を借用しているため障害者用トイレがなく、簡易トイレを置いてカーテンでしきったり、てんかん発作

や体調がくずれた時、横になるスペースも休憩室もないこと、それぞれの持病に見合った食事の調理室や食堂がないこと、天井がトタン一枚、床がコンクリートのみということ、車イスのなかまが知らず知らずのうち足がしもやけになっ

ていたことなど、本当に心が痛みます。この現状を打開しようと、社会福祉法人として認可を得て施設建設しようとして、認可運動の真っ最中で

す。施設建設は三十人定員の作業所と十人の福祉ホームを併設しようと思っ

作業中、あちこちから笑顔が...  
右から2番目が代表の山口映子さん



一人暮らしのなかまや、両親が高齢になり介助に限界をきたしつつある中で、重度障害者のための福祉ホーム建設は悲願です。



倉庫を利用しているため、夏はサウナ、冬は冷蔵庫!?  
社会福祉法人の認可を得て施設建設が緊急課題

### より人間らしく生きたい ガンバレと、声援を!

また、施設環境が悪くとも今やれることはしよう

と、家族の緊急な事態に備えようと、レスパイト(施設開設時間外にも障害者を

重度障害者にとって、通院は必要不可欠で、工房シテイもお医者さんと関わる機会が多いです。問題として、成人した子どもを夕

方病院に連れていくのは、積極的に各々の体について

### 秋の一泊レクリエーションに代わり、 日帰りグルメ・バスツアーを開催します

毎年開催してきました「秋のレクリエーション」は、参加者が一定数集まらなくなり、今年から開催しないことになりました。代わって、会員・家族を対象にした日帰りバスツアーを開催します。今年度計画は下記のとおり。詳細が確定しましたら、チラシなどで詳しくご案内いたします。

- 日 時/1999年8月29日(日) 金沢駅西口 午前7時ごろ集合 午後6時ごろ解散
- 行 程/縄文真脇温泉(真脇遺跡縄文館見学、真脇温泉入浴など)→昼食(能都町宇津割烹「あたか」)→コスモイル羽咋(3Dプラネタリウム・宇宙科学展示館見学)など
- 募集人員/42人(定員に達し次第締め切ります)
- 料 金/大人:17,000円、子ども:10,000円 ※幼児は食事がいらぬ場合は無料

1と3が好手で生きます。

囲碁解答

(問題は8面にあります)

教えてもらう機会を設けています。工房シテイの指導が、お医者さんと反対のことをしていないか疑問を持つたときや、お医者さんの指示を積極的にその人に受け入れてほしい時などは、出向いて教えてもらいます。幼少のころから診てもらっている、なかまの成長をお互いに喜び合えて本

者さんだけ、今のところつながりがなくて困っています。この場をお借りしてお願い致します。

工房シテイに今一番必要なお医者さんは、歯医者さんです。「口を開けない」ことからは、「連れていけない」ことまで、工房シテイで治療していただければ、解消されるのではないかと

思っています。歯医者さん、ぜひ来ていただけませんか。歯医



# 介護保険のポイント

利用者とケアマネジャーのための本

国民医療研究所主任研究員 朝日 健二著

(この一冊で介護保険のすべてが理解できます。)



一目でわかる要介護状態像60例(介護認定審査会の審査判定に使われるもの)、マンガ10コマ、図表50枚を使つてわかりやすく解説。3月31日告示の21省令、4月19日答申など最新情報を折込み済み。  
●A5判224頁  
●定価1575円(税込)

お申し込みは協会事務局まで TEL076(222)5373

# 1999年度 グループ保険

受付開始6月25日まで

## 団体だから低額の掛け金

本人最高保障額	4,000万円
配偶者最高保障額	1,000万円
子供最高保障額	400万円

## ご家族そろってご加入下さい。

— 詳しくはパンフレットをご覧ください —

お申し込み  
お問い合わせ

## 石川県保険医協会まで

TEL(076)222-5373/FAX(076)231-5156



ボシントン鍋

犬肉の下に大量の野菜があり、犬肉の上には大量のゴマが振りかけられている

本年四月十六日から十九日まで、京畿道安養市の翰林科大学附属病院



### 有川功ドクターの 韓国訪問記 (24回シリーズ)

### 韓国事情見て歩き 第12話

## うわさのボシントン初体験

(平村)をセミナーのために訪れた際、初めて噂のボシントン(補身湯)に出会った。

それは四月十八日(日曜日)の昼食時であった。午前中の講義が終わるや、附属病院近くの新しいビルに案内された。建物のは何の変哲もない普通の看板が掛かっていただけであったが、ビル内の食堂の入り口には大きなハングル文字でボシントンと出ている。

案内して下さった李在甲先生は前後の脈絡なしに突然に「ボシントンを食べましょう」と言われた。私は驚いたが、前々からボシントンに興味があったので敢えて反対はしなかった。その店はボシントンを売りにしているらしく、ボシントンの案内広告があった。アジユモニ(おばさん)は慣れた雰囲気での客にもボシントンをしきりに勧めた。

早々にアジユモニが運んできた犬肉は見た目には豚肉と牛肉の中間で特に何の拒絶反応も感じなかった。この店の犬肉鍋の特徴は、とにかく新鮮で、大量のネギ・セリ・ニラ・ゴマの葉、その他滋養豊富そうな野菜と一緒に煮込むことだ。そして生姜・ニンニク、そのほか各種の滋養強精効果がありそうな薬味によるタレも神秘的だ。煮込んだ犬肉や野菜をタレにつけた後に、ニンニク、コチュジャン、人参、唐がらし、そのほか効きそうな素材を添えて、ゴマの葉やサンチエなどで包んで口にほうばる。さらに、犬肉を食べるたびに消化を良くすると称して、馬のように大量に食べる薬草の類も滋養強精に一役かっているのかも知れない。

夕方、すべての講義が終わった後、学会事務局員で打ち上げの会食をしようとして大学病院を出た。李在甲先生は私たちが再び同じ食堂に案内した。一昨日も昨日も、その日の昼食にもボシントンを食べたという同先生は、さすがにもうたくさんという風で、私と一緒にカムジャタン(甘薯湯)にした。ところがアガシ(未婚の娘)たちがアジユモニの勧めに従ってボシントンを元気良く注文した。どうやら、ボシントンは日本の鰻の蒲焼のような感覚で、疲労・夏ばて・病み上がりや老若男女がよく食べているようだ。

アガシドゥリが嬌声をあげながらボシントンを無邪気に突っ付いている時、趙有美嬢が心配そうに、私に「犬を食べる韓国人の食習慣をどう思いますか」と尋ねてきた。

一週間前に、鶴来で韓国の金龍柱先生らと「熊刺し」を食べたばかりだし、セミナーの一週間後には金沢市の片町でカナダのマギー教授らと「いさぎの踊り食い」もしている。その上、「馬刺し」も経

験している私は、ボシントンや他民族の食習慣をとやかく言う立場にはない。他人の、そして他民族の食生活を批判することは非礼であろう。趙有美嬢には「本来、食は文化であり、文化は比較したり批判したりする対象ではないし、私はもうすでに昼食時にボシントンをとても美味しく食べた」と返事したところ、彼女は非常に安心した風であった。そして急に、



元気もりもり!

犬肉は性質が非常に熱く、人間の陽気(精気)を高め、虚の部分を補充し、五臓六腑を安らかにして、血行を助け、胃腸を丈夫にする

しかし、強精効果が強調され過ぎていて、犬肉料理は、外国人には見えない、教えたくない、知られたくない食文化でもあるようだ。身内ではかなり派手に食べているのに、外人にはこの種の食堂は分りにくくしている。私が犬肉鍋に案内されたのも外人扱いからウリ(我々のうちの身内の)の範囲に入れて頂いたためかも知れない。



# 新シリーズ 介護保険 その1

## 金沢市の高齢者実態調査の概要

金沢大学経済学部教授 横山 寿一

介護保険事業計画のベースとなる高齢者実態調査の集計が、今、全国で進められている。金沢市の実態調査については、単純集計のレベルだが、ひとまず集計が終わり、三月の介護保険事業計画策定委員会で報告が行われた。以下、調査実施と調査結果の概要をみよう。

### 調査結果の概要

次に調査結果について、計画策定にとって重要であると思われる点に限ってみておこう。まず、「在宅調査」(実際の集計は回答者のうちから「自立」とみなされる人を除外、対象三千八百九十一人)だが、介護費用の負担可能額について五千円以下が十六・五%、一万円以下が二十七・四%も占める。サービスの利用状況と満足度では、サービスを知らない人がデイサービスやホームヘルプサービスを知らない人が、ホームヘルプサービスに不満を持つ人が二十五%もおり、その半数以上が「回数・時間」への不満であることが注目される。サービスの利用意向では、介護保険対象サービスの大半が「利用したい」より「利用したくない」が上回っているもの、今後の介護に関する「サービスを利用している在宅で」が二十八・六%、「入所・入院」が十一・二%あり、「入所・入院」希望の最大の理由が「介護者が病弱」であること、そ

れを裏づけるように介護者 護老人ホームと養護老人ホームの入所者は圧倒的に今と同じ場所を希望し自宅希望は少ないが(それぞれ四百六十一人と七十五人、百四十人と五人)、老人保健施設入所者の場合は逆に自宅の希望が大半を占め(九百六十人のうち四百五十九人)、療養型病床群では自宅と療養型病床群とが二百九人対百十人となり接近すること、老人保健施設入所者の場合、特別養護老人ホームの希望が老人保健施設と同じ位あること(九十二人と六十八人)が目ざれる。

「健康な高齢者の調査」では、健康への関心が極めて高く、日ごろから健康に気をつけている高齢者が多いこと、検診や相談など健康サービスへの希望もかなり高い比率にのぼることなどが示されている。今後、クロス集計の結果も踏まえて計画の策定が行われ、サービス提供量・整備目標、保険料等が決められるが、制約の多さや整備水準の低い現状を反映して、サービスの利用意向の度合いが本来の要求どおり回答に現れていない面もある。そうした潜在化した部分を個別ケースの検討などで明らかにしつつ、計画の策定を進める必要がある。

### 調査実施の概要

調査は、「要援護高齢者実態調査」と「健康な高齢者の調査」の二本立てで、一九九八年七月から九月にかけて実施された。前者は「在宅調査」と「施設調査」に別れ、「在宅調査」は六十五歳以上の高齢者全員を対象とした第一次調査(集計数六万四人)と、そのうち要支援・要介護の高齢者について実施した第二次調査(二万四千二百四十六人のうちから抽出、集計数五千八百八十六人)からなる。「施設調査」は、施設入所、医療機関へ入院中の六十五歳以上の高齢者(対象数二集計数五千九百六十九人)について実施された。後者の「健康な高齢者の調査」は無作為抽出し、そのうち健康な高齢者と考えられる

## 老人医療費助成の外来薬剤一部負担

保団連・保険医協会では、老人保健対象者に対する外来薬剤一部負担が七月一日から免除となる「特例措置」に伴い、都道府県で単独実施している老人医療費助成制度についても、同様の措置をとらせるよう各地で一斉に要望書を提出している。

## 京都府が「免除措置」を決める 石川協会からも要望書を提出

京都協会からの要望を受けて京都府では三月定例府議会でも、府が単独で実施している老人医療費助成制度の対象者に対しても同様の措置をとることを決めた。京都府ではこのため約一億円の助成額を見込んで

石川協会でも高松会長が三月十五日に「石川県老人医療費助成制度(マル福)の薬剤一部負担金についても県が助成する特例措置を実施いただきたい」と谷本県知事宛の要望書にもつき、榎本県長寿社会課長に申し入れた。

(事務局長 神田)

### 会員特別寄稿

## シリーズ 命の旅



## 縄文時代(7)

和を考へる

希望 (ペンネーム)

http://www.taisya-jts.taisya.shimane.jp/byo/bu.htm

「砂の器」、日本映画。坂上田村麻呂が蝦夷の討伐に出かけた時、現地の協力者たちと話した。ハンセン氏病の父を抱えた主人公が、過去を捨てたために殺人を犯す。故郷石川から、出雲の地への二人の壮絶であった旅がこの物語の圧巻である。この映画の謎解きの重要なヒントの一つに「犯人と被害者がズーゾー弁でしゃべっていた」という証言がある。その結果、犯人像は東北出身者と考えられるのだが、捜査の進展の中、実は出雲の、ある地方だけに今(名前の通りだと感心すも東北弁と似た言葉が残っている)と判明する。

お気づきだろうか。なぜ、東北弁なのか。東北弁が出雲のごく一部に伝わり土着したとはとても考えられない。それでは・・・？

ちよつと視点を変えてみよう。縄文人はどんな言葉を話していたのか。弥生人は同じ言葉だったのか。それを考えるヒントが日本書紀の中にある。何と良い響きではな

ある理由で戦いによる勝利は後の世には深く隠され、大國主命が国を譲つたという神話が捏造されたのである。それを神話うしてもそうとしか考えられないのである。

ある理由で戦いによる勝利は後の世には深く隠され、大國主命が国を譲つたという神話が捏造されたのである。それを神話うしてもそうとしか考えられないのである。



# 石川県医事文化史跡めぐり

〈48〉

## 石川・近代医学の足跡

— 金沢大学医学部記念館資料室 —

多留 淳文 (日本医史学会評議員  
金沢市・内科)



金沢大学医学部記念館資料室内部 (入口から撮影)

新聞の報道です。さて、金大医学部は貴重な承知と思うが、金大創立 医学歴史資料を来る五月 五十周年記念事業として 二十九日(土)から三日

間、初公開することになった。この際、その意義について解説しておく。

その一階東側の百四十四平米(約四十四坪)に資料室を設置し、今まで分散して保存されていた史料を収集展示したのである。

石川あるいは北陸における近代医学の源流は、金沢大学医学部の歴史であるといっても過言ではない。この資料室の医学史博物館の意義もそこにあり、少々見どころを紹介しておく。

大正五年(一九一六年)、金沢医学専門学校創立二十五周年記念に学生たちの行事集会所として記念館が建設されたが、半世紀を経て老朽のため、昭和四十七年(一九七二年)十全同窓会が中心となって改築され、

普通、最初に取り上げる重要事項だが、私はあえて残してきた。石川県に独立した医学史博物館はないが、金沢大学医学部記念館資料室には、内容が充実し、貴重な資料が収められている。

入口の右側に、草創期の功労者、津田淳三・太田美農里・田中信吾の三氏の油絵肖像額が掲げられている。スロイスらの外人教師の写真のほか、法医学の古畑教授が欧米留学中に蒐集したヒポクラテス・ウィルヒョウら

の石膏像は若い医学徒を鼓舞したと思われる。人体模型は、当学の宝物キンストレーキ(黒川良安が長崎で購入)だけでなく、教室創設期の諸教授の模型製作の努力には頭が下がる。五代加賀藩主前田綱紀が購入されたドドネウス本草書をはじめ貴重な医書・ノート類や文書が多数展示されている。そのほか看板・凶面・器具類など、どれ一つを取り上げても詳説の価値がある。

金沢大学医学部記念館は小立野の金沢大学医学部本館の後、薬学部正面の前にある。現在、附属病院増築工事のため、入館には不便があることを付記しておく。

## 会員リーエッセイ

◆◆3◆◆

### インターネット

岩瀬 俊郎 (金沢市・内科)

私はある病院の勤務医です。私の一日の始まりは、朝、医局に行く。パソコンを起動させることから始まる。モーターのクラリネット五重奏などをBGMに、一階の自動販売機で買った紅茶を飲みながら、昨日あったことを入力し、一日の計画を立てるのがいつも判で押したような日課である。

「先生、昨日の患者のことで相談なんです。ある朝、研修医のN先生が声をかけてきた。「テキストにはなかったか」と聞き返すと、「簡単なことは載っていますが、最近の情報はありません。それよりも、いつも先生が言っていたインターネットで調べて欲しいんです」との返事であった。

その日の夜、私は自宅へ帰ると、いつものようにまず、私宛のmailを調べた。とは言っても、私宛に個人からmailが来ることはほとんどなく、私がmail-serviceを依頼しているHome Pageから定期的に来るものばかりである。そのあと、NetscapeからbioMedというHome Pageに接続して、頼まれた件について、complicated pneumothoraxを検索した。出てきた記事は、Downloadして、Endnoteに取り込んで一件落着。翌日、早く出かけてN先生にフロッピーを渡した。

「先生、これはどうすればいいのですか?」と聞いてくるので、「Endnoteというapplicationを開くと、昨日調べた内容がdatabaseとして見ることが出来るんだ」と言い出してからいつもの自慢話をした。「もともとインターネットでの医学情報は大変金がかかったもんだ。一件調べるのに何千円という額を払った。それも、実際見ると関係あるのは少なかったりして、無駄が多かった。今、私がやっているのは、接続料だけで検索料が無料なので大変助かっている。その上、送られてくる情報も、かつては

そのまま見るためにいろいろ面倒だったが、今はdatabaseに落とせる状態でDownloadできるようなったので、件数が増えたときに調べるのが簡単になった。もし良かったらN先生もやってみませんか?」

「いいに、最近言われているEBMに基づくというguidelineを調べて欲しいんですが」

私は、次の日にNHBLIから出ている気管支喘息に関するguidelineを印刷して四百頁近いファイルとしてN先生に差し上げた。N先生がびっくりしたことは言うまでもない。

## 春の食くらまつ会

とき 5月28日(金)午後7時15分

ところ レジデント(金沢市尾張町)

参加費 二万円

お申込みは協会事務局までお電話で

〆メ切:5月25日

保険医協会創立25周年記念

## 第3回ドクターズ・ファミリーコンサート

出演者募集のご案内

ドクターズ・ファミリーコンサートを今年も開催します。ただ今、コンサートの出演者を募集しております。楽しいコンサートを企画しておりますので、お気軽にご応募下さい。

■とき 1999年9月23日(木・祝)夕方

■ところ 石川県女性センター1階ホール

- 応募部門 邦楽、洋楽、ポピュラー、Jazzなど、ジャンルは問いません。会員、家族、スタッフの参加をお待ちします。
- 曲 目 自由
- 参加費用 無料(楽器などの搬入搬出などの費用はすべて出演者のご負担とさせていただきます。)
- お申し込み・お問い合わせ 詳細については保険医協会事務局まで TEL(076)222-5373

主催 石川県保険医協会 / produced by Yoshiaki Kitayama

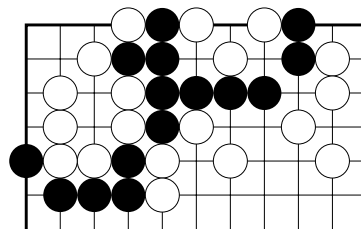
上記会場で、会員作品展を併催します。

絵画・写真を公募します。詳しくは後日ご案内します。

【訂正とおわび】  
本紙前号(四月十五日号)で一面および八面における発行日が「3月15日」になっていました。訂正しておわびいたします。  
(編集部)

## 囲碁

■出題者 七段 向井富治 (金沢市・内科)  
黒番で生きてください。



(解答は5面にあります)